

高泌乳牛用バイパス蛋白飼料(加熱全脂大豆)

ルーメンパス



特徴

- 米国インスタプロ社が永年の試験研究によって開発したドライ・エクストルーダーにより、大豆を最も理想的な方法で熱処理加工したものです。
- 短時間で熱処理することによって、大豆本来の栄養分を損ねることなく、タンパク質のバイパス率を高め、高泌乳牛に必要な十二指腸から小腸で分解・吸収されるアミノ酸を供給します。アミノ酸の吸収率は生大豆に比べて 20%以上も向上します。
- 大豆に含まれる有害物質であるウレアーゼ、トリプシン・インヒビター（成長阻害物質）等は、エクストルード処理によって大幅に低下しています。
- 大豆油に含まれる天然トコフェロール（ビタミン E）及びレシチンの抗酸化作用がエクストルード処理によって、活性化されており、長期間変質しません。
- エクストルード処理により代謝エネルギーが大豆粕に比較して 40%、圧ペングレーク、焙煎大豆に対して 10%以上と大幅に向上しております。これは、大豆中の油脂の組成が変わったため、特に高泌乳牛のエネルギーアップには最適です。
- バイパス油脂添加にもバイパスタンパク質は不可欠です。総乾物摂取量に対し、油脂を 3%添加する場合、バイパスタンパク質を 1%増やす必要があります。

ルーメンバイパス

成 分 表

粗タンパク質	38.0 %以上
粗脂肪	18.0 %以上
粗纖維	5.5 %以下
粗灰分	5.5 %以下
水分	9.0 %以下
カルシウム	0.2 %以上
リン	0.5 %以上

給与方法

泌乳牛

本品の給与前に、次のことを確認してください。

- 良質の粗飼料を十分に給与してください。
- カルシウムとリンの要求量が確実に満たされているか確認してください。
- 第一胃での溶解タンパク質レベルを 13%位で設計してください。

【給与量の目安】

乳量 (日量)	給与量
25~30 kg	0.5~1.0 kg
31~35 kg	1.0~1.5 kg
36~40 kg	1.5~2.0 kg
41 kg 以上	2.0~3.0 kg

子牛、育成牛

最近の研究で、離乳後から 10 ヶ月令、及び妊娠期間中のバイパスタンパク質の要求量は非常に高いことが証明されました。

【給与量の目安】

離乳後~6 ヶ月令	100~200 g/日/頭
6 ヶ月令~10 ヶ月令	200~400 g/日/頭
種付後~分娩	200~500 g/日/頭

導入牛、移動牛

長時間輸送された牛は、ストレスのため第一胃の消化力が低下しているため、給与されたタンパク質を十分に消化吸収できませんので、バイパスタンパク質の給与が大変効果的です。

【給与量の目安】

肥育場または牧場到着後から 10 日間 1 日 1 頭当たり	500 g~ 1 kg
-----------------------------------	-------------

 株式会社 野澤組 機械部

本社 機械部 TEL:03-3528-8106 FAX:03-3528-8125

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-5-2

北海道営業本部 TEL:0155-67-5025 FAX:0155-67-6207

〒080-0048 北海道帯広市西18条北 1-1-2

九州 営 業 所 TEL:096-381-3914 FAX:096-381-3841

〒862-0954 熊本県熊本市中央区神水 2-10-7



野澤組のトータルアプローチ

株式会社 デーリィ・ソリューション

北海道事業所：北海道帯広市西 18 条北 1-1-2

〒080-0048 TEL : 0155-35-1115 FAX : 0155-35-1110

E-mail: machinery@nosawa.co.jp <http://www.totalapproach.co.jp/>

